

グラフィックスカード (PY-VG201(L) / PYBVG201(L))

(1) 概要

サーバ本体のグラフィックス機能を拡張することができる PCI Express バス対応グラフィックスカードです。

**(2) 特長**

1. PCIスロット(PCI Expressバス)に装着するカードで、サーバ本体の標準グラフィックス機能を拡張します。
2. NVIDIA 社製 NVIDIA NVS300 を採用。
3. 本カードは、VRAM 512MB(DDR3)を搭載、最大解像度(色) 2048x1536/32bit color (VGA)、1920x1200/32bit color (DVI-I)をサポートします。

(3) 仕様

項目	仕様	
品名	グラフィックスカード	
型名	PY-VG201/ PYBVG201	PY-VG201L/ PYBVG201L
VRAM	512MB DDR3 SDRAM	
最大解像度/色	2048x1536/32bit color (VGA) 1920x1200/32bit color (DVI-I)	
バス	1 channel PCI Express バス	
カードサイズ	ハーフサイズ 幅: 145 mm (ケーブル部除く) 高さ: 69 mm (ブラケット除く)	
ブラケットサイズ	Fullheight	Lowprofile
コネクタ形状	DMS-59 コネクタ (DMS-DVI-I ケーブルおよび DVI-I-VGA 変換コネクタを使いディスプレイに接続)	
サポート OS	便覧またはシステム構成図参照	
適用機種	便覧またはシステム構成図参照	
添付品	DMS-DVI-I ケーブル, DVI-I-VGA 変換コネクタ x2	
DVI-I 出力	サポート	
デュアルディスプレイ	サポート	

(4) 留意事項

1. サーバ本体の POST 中や DOS の環境で、本体リセットスイッチや【Ctrl】+【Alt】+【Del】等でサーバ本体をリセットすると、画面が再描画されるまでに 10～15 秒ほど時間が掛かる場合があります。異常ではありませんので再描画が開始されるまでしばらくお待ち下さい。
2. サーバ本体ご購入後に本製品を追加搭載する際に、既に搭載されているカードの移動が必要な場合があります。その際、移動したカードの再設定(IP address など)が必要となる場合があります。本製品を搭載する前に、移動するカードの設定を控え、本製品のセットアップ後に再設定して頂くようお願いします。また移動したカードへのケーブル接続にご注意下さい。
3. Linux OS RHEL 6 and RHEL 6.1 で使用する場合は、カーネルパラメータを”nomodeset”と設定する必要があります。
4. 本製品をご使用時はリモートマネジメントコントローラアップグレードのグラフィカルコンソールリダイレクション機能(Advanced Video Redirection 機能)およびリモートストレージ機能は未サポートです。
5. 本製品では最大解像度/色 2048x1536/32bit color (VGA)、1920x1200/32bit color (DVI-I)までをサポートしますが、表示可能な画面の解像度/色およびリフレッシュレートは、接続されるディスプレイ、KB/Mouse/CRT 切替器やインストールされている OS の種類によって異なります。
6. DirectX 10.1 / OpenGL 3.3 をサポートします。
7. Windows イベントログ(イベント ID:1000)について、VGA カード搭載時に下記のイベントが OS のイベントログに記載されることがありますが、動作上における支障はございませんので、そのままご使用ください。
 ソース: Application Error
 イベント ID: 1000
 レベル: エラー
 キーワード: クラシック
8. 本製品を増設した場合、オンボードの VGA 出力端子は使用できません。オンボード VGA 端子にディスプレイ装置を繋いだ場合、ロゴ画面のみ表示されます。

(5) 接続形態

PCI カードの搭載位置について

搭載可能な PCI スロット位置は、取り付けるサーバ本体によって異なります。必ず弊社インターネット情報ページ(<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/>)の「システム構成図」を参照し、搭載可能位置を確認してください。本製品の取り付け手順については、取り付けるサーバ本体に付属の SVS に格納されている『クイックスタートガイド』を参照し、記載された手順にて取り付けてください。

